

学校だより



よく考え 励まし合って やりぬく子

よく考える子

励まし合う子

やりぬく子

TEL : 69-2029 FAX : 69-4448 HP-URL : <http://www.tanpopo.ne.jp/~ohyabu/index.htm>

3日早い 2学期の始まりです。

新学習指導要領における「授業時間数の増加」に対応しつつ、夏休みから2学期へのスムーズな移行をするため、輪之内町では本年度より8月29日が始業式となりました。賛否両論あると思いますが、なるべくメリットの多い方法を選択できたと考えています。子どもたちが「夏休みと2学期のギャップ」を大きく感じないことが大きな目的ですので、ご理解とご協力をお願いします。

さて、今年の全国高等学校野球選手権大会（夏の甲子園）は、劇的な試合が多く、本塁打もたくさん出て、たいへん盛り上がりました。私の高校時代には考えられなかったようなチームも増えています。打撃フォームも「左足のステップ（右打者）」に進歩が見られます。「150kmのスピードボール」を投げる選手が複数存在するチームや、「セカンドで4番打者」「サードで2番打者」という選手がいるチームなど、野球の戦略・戦術の変化も興味深いです。

これは、「より強く」という願いのもと、各チームや個人が努力を続けてきた成果です。スポーツは、戦いに勝つために自分を鍛え、成長させることができ、今回は負けても、また来年、また4年後・・・と、人は努力を続けます。だから私は、スポーツが大好きです。

9月23日（土）は、いよいよ大藪小学校の運動会です。子どもたちは「全力で戦え！仲間とともに最後まで」の児童会スローガンのもと、すでに準備段階から心をひとつに団結し、全力で練習しています。このスローガンは、昨年度の6年生が残した財産である「練習から全力で取り組むことの素晴らしさ」を受けて作成されています。

7月に行われた結団式でも、6年生の応援リーダーを中心に、大きな応援の声が体育館に響き渡りました。歌い終わったときに耳がキーンと鳴るくらい大きな「ゴーゴーゴー」を聞くこともできました。また、「体操の隊形に開け、1・2・3！」の動きや声も全力でできるように、日常的に練習しています。

運動会当日だけでなく、それまでの準備の中で団結し、力の限り取り組む姿は、とても立派です。運動会を通して、子どもたちは大いに成長するはずです。保護者の皆様は、お子さんをよく見ていただき、小さな成長を見つけて認め、誉めてあげてください。

鹿児島に行ってきました。

8月22日（火）から3日間、輪之内町の各小学校の代表4名ずつ、合計12名と引率5名で鹿児島県へ行き、鹿児島市立南方小学校との交流を行いました。

約260年前に行われた「宝暦治水」を縁に、岐阜県と鹿児島県は様々な交流活動を行っています。輪之内も何年かぶりに交流を復活させました。

鹿児島市内にある薩摩義士碑には「揖斐川の水」「長良川の水」「木曾川の水」と書かれたペットボトルや河原の石が、すでに供えられており、子どもたちは、岐阜県と鹿児島県の関係の深さに感動しました。また、地響きのような「桜島が噴火する音」に驚いていました。

南方小学校6年生（全11名）との交流も積極的に行われ、仲よくなるだけでなく、いつの間にか鹿児島のイントネーションで話す児童も出てきたほどでした。

文責 校長 小椋英史